



実釣デモを担当した渋谷直人さんもキャストイングをしクチャー



参加者は女性のほうが圧倒的に多い。中には非常に飲み込みの早い人も



デモに続いてキャストイング体験。みんな最初は遠慮がちだったが……



参加者たちは渋谷さんのループを不思議そうに眺めていた



渋谷さんの実釣デモ。魚が釣れるとよかったのだけど



昼食は川辺川のほとりでバーベキュー。東さんも焼き係



昼食後の暖かな午後。居眠りする人は誰もいない



昼食後は室内で嶋崎さんによるタイピングデモ

ちのような監理団体や企業様が一緒に
なつて、この「Kumamoto Kurasu」が
立ち上がりました。少子高齢化、人口
減が進む日本は、これからはこの方た
ちの力を借りなければならなくなり
ますから、外国人財の方たちにとつて
より暮らしやすい環境づくりをめざし
ています。

—— 今回、島巻さんのようすをみてい
ても、みんなのお母さん、といった感じじ
でした。

島巻 今の私たちのやり方がベストとも
思わないし、やはり人に合わせていく必
要があると考えていますが、こちらが間
口を広げれば、実習生も本当にお母さん
と思つていろいろ話をしてくれるのです
ね。この五木での研修期間の1ヵ月、一緒
にごはんを食べたり、寝泊まりしたりと
いう時間を過ごしているのです、そうい
うことをきちんとしていれば、実習生はそ
れぞれの会社に配属されても、なにかあ
つた時にやはり我々に相談したくなる。
そして、今回みたいに何かイベントがある
よ、いえは帰ってきてくれる、という関係
になつているのは、ありがたいことだと思
つています。

—— 参加者の方が、最初はゴミの捨て
方もわからなかった」とおっしゃっていま
した。

島巻 そうですね。やはり1ヵ月の講習
をする中では、これをしなければいけな
い」というメニューも決められています。
その中で、いちばん彼らが悩むのが、ゴミ

捨てるルールなのです。五木村で勉強す
れば、五木村のルールを学ぶことになり
ます。でも皆さんが配属される場所は、
熊本のいろいろな地域になり、ルールが違つ
てしまうことがあるので、そこでまた悩
むのですよね。だから、そういうゴミ出し
にしろ、寮の清掃にしろ、いろいろな国の
人に合わせた、細かい対応は難しく、みん
なが悩んでいるところです。

五木は故郷の音がする

—— イベントには72名の方が参加され
ました。ネパール、ミャンマー……。

島巻 あとベトナム、タイです。

—— 彼らにとっては自国から日本へ来
るつて、相当勇気がいることなのではと
想像します。

島巻 そうですね。本当にもう、家族を
背負つていると思います。現地での説明
会で、実習生のお父さんが手を挙げてら
れて、「あなたは子どもを遠く離れた国
に出した経験はないでしょう。私は、か
わいい子どもを手放すのですよ。今の私
の気持ちわかりますか？」つて言われた
ことがあります。その時に、自分の子ど
もに置き換えたなら知らない国に3年間
出せるのかな？つて考えて、本当に胸に
刺さりました。大事に育てた子どもが
んを、ご両親の気持ちも汲んで、本当に
しっかりサポートして、「ああ日本に行
つてよかったね、お帰り」つて、迎え入れ
てくれるように私たちがしっかりしてい
かなきゃというのを、すごく感じて。



まずは東知憲さんによるキャストイングデモ。平易な言葉を使い、フライキャストの要点のみに絞った解説はさすが

媒介装置としてのフライフィッシング

2024年3月上旬。

川辺川が流れる熊本県五木村にて「川辺川フライフィッシング祭り」が開催された。純日本的なイベント名に反し、内容は熊本に在住する外国人財の人たちにフライフィッシングを体験してもらおうと、地元企業で構成される「Kumamoto Kurasu多文化共生事業実行委員会」とJICA熊本が主催したもの。つまり参加者はみな外国人なのである。

講師として招かれたのは、小誌でもおなじみ、東知憲さん、嶋崎了さん、渋谷直人さんの3名。はたして実技解説の言葉が通じるのか、そもそもフライフィッシングに興味を持ってもらえるのか、予測不能なイベントだったが、当日はタイ、ベトナム、ミャンマー、ネパールから来日している72名が参加し、こちらの想像以上に楽しんでもらったようだ。

運営を担当したのは、地元五木で技能実習生の受け入れやサポートを行なう監理団体「GMT(Global Manpower of Technology) 協同組合」。同組合代表理事の島巻恵里さんにお話をうかがった。

島巻恵里=解説
Comments by Eri Shimamaki

編集部=文と写真
Text & Photography by FlyFisher

外国人財とフライフィッシング

—— GMTは、具体的にはどのような業務を行なわれているのでしょうか。

島巻 GMT協同組合は、日本に在籍される外国人財に対して、受け入れから入国後の研修、また企業配属後のサポートを行なう機関になります。在留資格では今年育成就労ビザに変更になる技能実習生、特定技能生、エンジニアなどの技術職の方々まで広くサポートしています。

—— それは生活などもケアする、ということになるのでしょうか。

島巻 監理団体に任せられている決められた業務というのはあるのですけれど、私たちは、そのようなサポートからもうちょっと踏み込んで、本当に親身になつて、外国人財の方が、「ああ、相談してよかった」と思えるような監理団体になりたいという思いがあります。

—— 今回のイベント開催までの経緯を教えてください。

島巻 熊本にも、外国人財の方がたくさん入つているのですけれども、技能実習生の場合、3年終わったあとに、よその県に移つてしまふという人も多いのですよね。ヒアリングをしていくと、「熊本のことがあまりわからない」と。それから、外国人財に対するアナウンス、たとえば看板の整理とか、防災のこととか、「日本語でばかりで言われるのわからない」と。そういうところが、彼らに優しくないとということがあって、私た